

出来事ファイル (No.23-12)

■もとまちハーバークリーン作戦

～障害者週間～

中央区自立支援協議会では、毎年12月3日～9日の障害者週間に併せて清掃活動を実施しています。

12月6日(水)神戸駅東地区では協議会会員が参加し、周辺企業の皆さまと合同で清掃活動を行い、企業社員の方々や地域住民の方々と顔の見える関係づくりや、事業所間の交流をすることが出来ました。

今年で13回目を迎える事ができました清掃活動ですが、年々参加する事業所が増え、盛り上がり来ております。それぞれの事業所の周りでも、清掃活動に取り組んでおりますので、お見かけした際は、励ましの声などを掛けて頂けたら幸いです。

中央区自立支援協議会とは、障がい当事者、家族、障害福祉に携わる事業所、医療、ボランティア団体、学校、行政など約110団体加盟し、障害福祉の啓発活動や社会参加、障害福祉の課題などを協議する会です。

中央区自立支援協議会 事務局

正午12時から、エスタシオン・デ・神戸から7名、ネットヨタ兵庫から27名、神戸ベルコから7名、ワンモア三宮・ベーシックアカデミー・マイワーク・のぼりざか・アルスマイル・パピヨン・ウィズ・ユーク神戸・ポップカルチャースタジオ未来図・PEAKS神戸・コルポート・サンヴィレッジ三ノ宮センター・manaby三宮・中央区社協・いそがみ障害者相談支援センター・たちばな障害者相談支援センター・あいあいネット神戸から90名が、ハーバーロード周辺・きらら広場のクリーン作戦を実施しました。

毎月、第1水曜日12時より、地域の企業様有志で実施しております。多くの方々のご参加をお待ちしております。



エスタシオン・デ・神戸のみなさん



株式会社神戸ベルコのみなさん



中央区自立支援協議会のみなさん



ネットヨタ兵庫株式会社さんのみなさん

□読者プレゼント

観覧ご希望の方は、住所・氏名・年齢・本紙への一言を添え、本紙編集部までハガキでお申し込みください。先着順で2名の方にペア招待券をお送りします。



◎アール・ヌーボーの女神たち
会場：グランフロント大阪 北館 ナレッジキャピタル イベントラボ
会期：2023年12月9日(土)～2024年1月28日(日)
時間：〈平日〉11:00～20:00 〈土日祝〉10:00～19:00
*2024年1月2日(火)・3日(水)は祝日扱い
休館日：2024年1月1日(月)
問合せ先：050-5542-8600 (ハローダイヤル：全日9:00～20:00)
【画像協力】OGATAコレクション



◎アニメージュとジブリ展
会場：大丸ミュージアム〈神戸〉(大丸神戸店9階)
会期：2024年1月5日(金)～1月21日(日)※予約優先制
時間：10:15～18:30 (19時閉場) 最終日は15時まで(15時30分閉場)
問合せ先：大丸神戸店 078-331-8121
© Studio Ghibli © Kanyada

神戸元町商店街 楽市楽座 情報 1月

◇こべまちづくり会館ギャラリー(無料) Tel.361-4523

- 1月 5日(金)～1月 9日(火)きりぎりみ絵展
- 1月11日(木)～1月16日(火) 神戸の水災・戦災・震災 1938年・1945年・1995年と前世紀に神戸を襲った3つの大災害の記録
- 1月18日(木)～1月23日(火)ろうきん公募写真展(展示は19日～)

◇元町映画館(有料) Tel.366-2636

- 1月 1日(月)～1月 5日(金) 『ローマの休日』製作70周年『野球とアホウ未亡人』
 - 1月 1日(月)～1月12日(金)『スイッチ 人生最高の贈り物』
 - 1月 1日(月)～1月19日(金)『枯れ葉』
 - 1月 6日(土)～1月12日(金) 『マイ・ファミリー 自閉症の僕のひとり立ち』『東京遭難』『電エースカオス』
 - 1月 6日(土)～1月19日(金)『香港の流れ者たち』
 - 1月13日(土)～1月19日(金)『未帰還の友に』『いまおかしんじ監督特集』
 - 1月20日(土)～1月26日(金)『きのう生まれたわけじゃない』『めためた』
 - 1月20日(土)～2月 2日(金) 『ガザ・サーフ・クラブ』『レオノールの脳内ヒプナゴジア』
 - 1月27日(土)～2月 2日(金)『映画の朝ごはん』
 - 1月27日(土)～2月 9日(金)『メンゲレと私』
- 【予定は変更になる場合がございます。】

栄町通クリーン作戦

栄町通まちづくり委員会は、12月8日(金)10時から10時30分まで、栄町通を中心に、ゴミ拾いと不法ビラ撤去、自転車・バイクなどへの不法駐輪警告チラシ取り付け作業など、栄町通クリーン大作戦を実施した。参加者は、(神戸市都市局景観政策課)小林凜、(こべまちづくり会館)木原正剛、(榊神明)丸尾史夏、(神明倉庫)十時美希、(のじぎく興産)藤原誠、(兵庫県信用組合)藤本吉英・福島盛久、(広島銀行)橋田英憲、(三鈴マシナリー)野田常美、(新光明飾)中川俊・藤田直之・西村友博・大森貴美子、((佐田野不動産)佐田野宏之以上、14名のみなさんでした。毎月第2金曜日午前10時、栄町通6丁目佐田野不動産前集合の上、実施しています。お気軽にご参加ください。



みなと元町 謹賀新年

タウンニュース

TOWN NEWS



発行：みなと元町タウン協議会 住所：〒650-0022 神戸市中央区元町通3-13-1協和会館内 発行人：奈良山喬一 編集人：岩田照彦 電話・FAX：078-391-0831

さまざまな世界の文化を体感できる映画館は「港」のような存在

元町映画館スタッフ 高橋 未来

元町商店街は今年2024年に150周年を迎える。1874年5月20日に現在の商店街の街区が「元町通」と命名され、同年に神戸～大阪間の鉄道も開設されたという。昨年から来年まで3年に渡り、さまざまな記念イベントが商店街で企画されているので、いつものお買い物に加え、さらに足を運ぶ機会を増やして楽しんでもらえたら商店街の一員として嬉しい。まったく関係はないが私の誕生日は5月21日、元町の誕生日と1日違い!そして生まれたのは1974年、元町誕生からちょうど100年後である。つまり私も今年は記念すべき50周年。そんな偶然に驚き嬉しかったので歳バレも辞さずお伝えしてみた。誰が興味あんねんって話だが。



あったようで、現在この歴史的地点から最も近い映画館が元町映画館であり、ひそかな自慢なのだ。大っぴらに自慢すればいいじゃないかと思われるかも知れませんが、私たち映画に関わる者にとって大きな意味を持つ歴史ポイントである神港倶楽部、一般的にはほぼ知られておらず、特に史跡などもないのである。この歴史を知って意気揚々と探しに行っていた私の絶望を想像してほしい。石碑やプレートのひとつもあるだろうと想像していたが、ない、ない、何もない。歴史は確かに存在したはずなのに、誰もその証を残そうと思わなかったのか。私にできたことと言えば、跡地に建つ現代的で立派なマンションを見上げて「お～、ここから日本の映画の歴史が…!」と想像力をフル活用するのみであった。



港町であることでさまざまな文化を取り入れ、豊潤な文化を形成していった神戸だが、映画館もそれがあつた街にとって港のようなものだと思う。「映画館は世界に開いた窓」という表現もよ

くするのだが、ここに来ればさまざまな世界のさまざまな時代のさまざまな文化に触れられる、そんな場所なのだ。元町映画館はかねてより、その上映作品の幅の広さには定評がある。2024年も1月1日から営業を開始するのだが、年明けのラインナップは以下の通り。当時無名だったオードリー・ヘプバーンを一躍スターへと押し上げた永遠の名作『ローマの休日 4Kレストア版』、一時は引退を宣言したフィンランドの名匠アキ・カウリスマキ復活の新作『枯れ葉』、日本でも人気を博する俳優クォン・サンウ主演のハートフルな韓国映画『スイッチ 人生最高の贈り物』、昭和的スポ根とポルノをかけ合わせた異色でカオスな野球映画『野球どアホウ未亡人』。小さな映画館1館で1日にこれだけの文化に触れることができるなんて、多様にもほどがある!



映画の歴史を体感できる企画もある。映画に音がなかった時代の作品を、サイレント映画専門の楽士・鳥飼りょうさんのピアノ生伴奏とともに鑑賞する「SILENT FILM LIVE」も年に4回ほど行っている。報道されない世界の姿を伝えるドキュメンタリー作品や、これからの活躍が期待される若手監督たちの作品も積極的に上映している。映画を通してさまざまな文化に触れることで、自分の世界をどんどん広げていってほしい。

海という名の本屋が消えた (122)

平野義昌

西村旅館(14)

書物雑誌「書物の趣味」第三冊は1928(昭和3)年12月発行(註1)。限定450部、第一冊・第二冊共「希望者に御頒けする事が出来なかった」ため100部増。定価2円50銭。石田幹之助(東洋文庫の基礎を作った東洋史学者)「慶長十年長崎版『サガラメントの栞』に就て」。矢野峰人(詩人・英文学者)「ラファエロ前派の雑誌」。頼原退蔵「犬筑波考」。新村出「伊曾保漫筆」。庄司浅水(書誌学者)「十六世紀の珍稀本二冊」。伊藤長蔵は口絵2枚、ポッカチオ「アダムとイヴ」、カックストン版「イソップ」解説。

西村貫一は「Ex-librisに表はれたる(ママ)言葉 第二回」を寄稿。伊藤から後日単行本にまとめたいと申し出があった。貫一はできるだけ世界各国の関連書を集め、号を追って紹介する意向。イタリア領事・ガスコ氏が国の友人から蔵書票を提供してはらい、翻訳を引き受けてくれる。貫一の交際範囲は広い。

今回も貫一のコレクションから。絵図がないのは歯がゆいが致し方なし。

トーマス・ブルース(17~18世紀イギリスの貴族・政治家)。絵は河岸の景色。「真理は静」の文言(ラテン語と英語掲載、以下同じ)。

デシマス・バートン(19世紀イギリスの建築家・造園家、ネット検索すると現存する建物あり)。絵は帯の真ん中に錨、「思慮せよ」。

ジェイムス・ウォーカー(19世紀イギリス数学者)。絵は十字架を持つ手。「真理は吾が道しるべ」。

神戸の古本屋で入手した本。シェイクスピア研究本(1830年刊)には皮製の蔵書票、金色で持ち主署名。皮の難点は染色剤の汚れが本に付着すること。同じく同志社神学校教師・牧師オーティス・ケーリの蔵書には英語で、「書物を御借りになった方々は又貸しせずに一ヶ月以内に御返してください」の文言。

フランス人神父アマトス・ヴィリオンは著書にEx-librisと書き、署名。明治元年来日以来の布教活動を回顧した本。神父はこの年5月西村旅館来訪(註2)。翌月貫一が奈良の教会を訪問して古書談義。註3

神戸図書館の橋本正一より、所有するイギリス演劇人評伝に蔵書票あり、と報告。「呼吸の通う限りは十字架を信ぜん」の文言。貫一は聖心女学校(長女在校)の応接間で同じ蔵書票を発見した。神戸在住の弁護士、故チャールズ・ネヴィル・クロスの蔵書だった。彼は春日野墓地に眠る。

貫一は古本屋で関西学院のジョン・カルドウェル・カルホーン・ニュートン先生の蔵書票も見つける。「外国人排斥の声の高かった当時私は人目を忍んで先生の宅を夜尋ねて英語を勉強したものでした」という恩人。署名と番号、値段を書く欄が印刷されている。蔵書票の“Price”欄は「私が且って見た事の無い文句」。学院関係者と話していて、先生は金銭に構わぬ人だっただけにどんな気持ちで入れたのか聞いてみるのも面白い、と笑いあった。

イギリス演劇人ゴードン・クレイグ(母は名優エレン・テリー(註4))が著書“Nothing or the Book-plate”(貫一訳「無駄事一名蔵書標」)に蔵書票の注意事項を挙げている。(1)蔵書票は飼犬に主人の名札をつけるようなもので、何の不思議もない。大きいものは感心できない。小形ほどよい。(2)切手くらいの大きさが望ましい。言葉数少なく、模様は線少なく。書物の内容に合うものを用いる。(3)気に入るまで気長く研究し製作。

(4)木版がいちばん良い。本に貼って本に合わせて色をつけてみるのも良い。

(5)ゴムのりはよく接着するが、乾くと反り返り、湿ると対面ページにも着き、黄色く滲んでくる。白いのりを使う。

貫一は今回原稿の翻訳について、ラテン語は聖心の校長メイヤーに、フランス語は町田梓楼に協力を得たことを記す。また執筆中にエレン・テリー訃報(80歳、本稿前号写真は彼女の蔵書票)を知る。

神戸市立中央図書館が「書物の趣味」第四冊を所蔵(写真)。B5版より少し小さい。閲覧用にハードカバーで補強。1929(昭和4)年6月発行、450部、1円50銭(前号より1円値下げ)。「編輯後記」に第一冊・第二冊共在庫なし、第三冊は残部少、とある。新村「影模蘭文古版絵入伊曾保物語の断簡」、庄司「南葵音楽図書館所蔵のインクナブルその他に就いて」他10編の書誌学論文が並ぶ。註5

貫一「Ex-librisに表れたる言葉(第三回)」(目次は四と誤記)。まずジュネーブ労働局長アルベール・トーマから贈られた著書のこと。労働の歴史の逸話集。蔵書票は皮製、名刺を象り右上隅を折り返した図。金色で署名と贈呈の年月“Decembre 1928”を記載。

次いで書物ではなく、友人からもらったドイツ製ビール用カップ。書物の絵が描かれていて、書名・著者名が読める。細菌学者ハインリッヒ・ヘルマン・ロベルト・コッホ(1843~1910年)他医学書や薬学書など。カップの把手は鉛製、鼻(死の象徴らしい)が描かれている。蓋に「死後何物もなし」「薬草は茂る」の文言あり。貫一察するに、
〈「死ぬ事なんか考えて何になる。生きている間に楽しまなければ嘘だ。飲み度い酒なら病神も一緒に飲み尽すさ」と大酒家を喜ばせる目的で作られた物だろうと思います。〉

入澤達吉(医学博士)来神時、カップの絵に恩師ルドルフ・ルードヴィッヒ・カール・ウィルヒョウ(医学者・政治家。人類学・考古学でも業績(註6))の名を発見。後日入澤が師の蔵書票を送ってくれた。開いた本の絵に「総ての細胞は細胞より生ず」の文言。

貫一はチャールズ・ディケンズの蔵書票を二種類所有。一つは獅子の絵。もう一つは二つの線で縁取りした中に次の語句三行。

From the library of / Charles Dickens, / Gadshill Place, June, 1870

名前のみ大きな活字。ガッツヒルプレイスはディケンズの故郷の邸宅。

アメリカの人類学者フェデリック・スタールはアイヌ、祭り、玩具など日本研究で知られる。神社のお札・千社札マニアで通称お札博士。日本の蔵書票についても書いている。アイルランドに蛇がないように日本には蔵書票はない、ex-librisに相当するものはbook-sealまたはlibrary-sealと呼ぶべき、と。

ニューヨークの古書市で日本の蔵書印蒐集本が出品されたことがある。その本には蔵書票はbookplateと記載される。

貫一のもとにEx-librisに関する文献書名を知りたいとの手紙があった。基本書を1冊紹介する。単行本だけでも800~900冊出版されていて、一言語二言語では心細い、専門家の助けがいる、根気がある、研究者には蔵書を喜んでお見せる、と表明。

蔵書票に蔵書家の名があり、身分など不明の時は、紋章や王冠の型、また武具の向きなど

によって解る便利な書物がある。“English heraldic book-stamps”

「サロメ」挿絵のオーブリー・ピアズリーがジョン・ラムスデン・プロバート(画家)のために作った蔵書票は言葉なし。白い人物が黒いドレスの女性を見上げている絵。現在そのデザインのシャツがネット販売されている。

イギリスの蔵書票流行変遷のこと。17世紀初めジェームス一世時代は「ジャコバンスタイル」。左右対称の図案、楯など形を崩さない整った紋章風の飾り。「一口に云いますと礼服を着た様な堅苦しい感じ」。

17世紀中頃から「チップペンデルスタイル」。その名の家具職人が古典風、中国風さまざまな様式と実用性を兼ね備えた家具で国際的に評価された。蔵書票も作成し、開いた貝殻や花を配し、堅苦しくなく柔らかく「静かな舞曲を聞く様な感じ」。しかし、優れた後継彫刻家が出ず20年程で衰退した。

次いで「アレゴリック・ブックプレイツ」。意匠に凝り、飾りが多く、重苦しい感じ、非現実的な模様が多い。18世紀は少なかったが、19世紀になって大量に出現した。

「ランドスケープ・ブックプレイツ」はトーマス・ピウィック(1753~1828年、画家・版画家、細密な技法で博物画も描く)で知られる。彼の故郷ニューキャッスル・アポン・タインの歴史的建造物を画題に取り入れた。

日本古今の蔵書印のこと。前年(1928年)町田梓楼の紹介で柳田國男を訪問。その印は「如何南面白城」。出典・意味不明。「君子南面す」と関係あるのか?

江戸時代初めの儒学者・林道春＝羅山、「謂雲遠樹」(貫一「？」をつける)。これも不明。

伴信友(小浜藩士、国学者)の印は「若狭酒井家々人 伴氏蔵本」、まわりにカタカナで「コノフミヨカリテヨムヒトアラムニハ ヨミハテテトクカヘシタマヘヤ」。国立国会図書館電子展示会「蔵書印の世界」で見られる。

当時の篆刻名人・郡司之教とその師匠・中井敬所の印を紹介して「第三回」を終わる。次の予告をしているのだが……。

註1 「書物の趣味」第三冊 ぐろりあ そさえて 1928年 国立国会図書館デジタル資料

註2 『西村旅館年譜』自費出版 1980年

註3 「金曜」第14号 へちまクラブ 1950年

註4 岸田真「ゴードン・クレイグの『演劇芸術』について」https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjstr/29/0/29_65/_pdf/-char/ja

註5&写真 「書物の趣味」第四冊 ぐろりあ そさえて 1929年 神戸市立中央図書館蔵

註6 医学専門雑誌・書籍の電子配信サービス「公衆衛生45巻12号」<https://webview.isho.jp/journal/detail/abs/10.11477/mf.1401206448>

引用文は適宜新字新かなに直した。貫一は文献と書誌を総て記載しているが、本稿では一部のみ紹介。



みなとMOIOMACHiケンチクさんぽ vol.30

公益社団法人 日本建築家協会 近畿支部

兵庫地域会 地域まちづくり委員会

復興と発展のシンボル

第二次世界大戦を経て、神戸の人口は戦前の4割に減少し住宅や工場の殆どが被害を受けました。戦後復興期は重化学工業を中心に経済成長を続け、工場用地確保のため臨海部の埋め立てが進められます。臨海部には神戸製鋼所、川崎重工業、三菱電機などが拠点を置き神戸港の運輸機能と相乗効果を生みました。復興と発展のシンボルとして神戸ポートタワー建設が始まりますが、土留めの鋼矢板が地中障害物で損傷し湧水が大量に侵入して工事が難航しました。必死の湧水対策と並行して、265本の杭打ち込みとスラブ厚3.5mのコンクリート打設が進められます。約500㎡という建築面積に対して相当な本数の杭が打たれ、さらに外周部の一部の杭に引抜抵抗を期待することでタワー転倒防止が図られました。軽やかな姿をしたタワーの一方で、軟弱地盤での地震力に耐えるよう地中に堅固な構造が設けられています。



1969年の神戸の航空写真 出典:国土地理院HP(神戸ポートタワーや神戸臨港線などが見える)

さと安定を備えています。竹ひごを鋼管に見立てて構造の合理性を疑似体験するイベントで、参加者の皆さんは「作業が細かくて大変。」と口にしながらか次第に組みあがるミニポートタワーに夢中になります。竹ひごの色や模型の大きさや曲線の開き方などで作品に個性が表れ、子供から大人まで完成した達成感で嬉しそうな表情を見せてくれます。完成後は中に照明を入れて一葉双曲線が作る光と影を楽しみます。完成したミニポートタワーを見せ合ったり、写真を撮ったり、工夫したところを説明しあったりする参加者の様子から、プログラムの楽しさと効果が感じられます。

改修工事が終盤にさしかかり外部足場が外れた神戸ポートタワーを見上げると、



1963年に神戸ポートタワーが竣工した後は、周辺環境が変化を続けます。神戸港の陸上貨物輸送を支えた国鉄湊川貨物駅と同駅への神戸臨港線が、貨物駅利用減少を背景として1985年に廃止されました。湊川貨物駅跡にハーバーランドの開発が進み、ショッピング、レストラン、アミューズメントを臨海部で楽しむ街へと変化していきます。また湊川貨物駅までの路線廃止により、神戸や元町からウォーターフロントへの徒歩アクセスが容易になりました。1987年にはメリケン波止場と中突堤の間を埋め立てメリケンパークが完成し、海洋博物館やタワーホテルがオープンして賑わいを増します。大水深コンテナターミナルを備えたポートアイランドや六甲アイランドに国際貿易貨物の拠点が移り、神戸ポートタワー周辺は市民や観光客が憩い楽しむ場へと変化しました。

1995年の阪神・淡路大震災では一帯が液状化で壊滅的な被害を受けましたが、神戸ポートタワーはほとんど損傷を受けませ



神戸ポートタワー(32本の直線で構成された一葉双曲線)

中央部のくびれから頂部への広がりりが美しくと改めて感じます。新設されるオープンエアの屋上展望台を想像すると期待が高まります。足元のメリケンパークでは翌日の音楽イベントのためにステージが設けられ準備が進められていました。波止場から対岸のハーバーランドを眺めると、夕空を建物のシルエットが切り取り暖色の照明が人々の寛ぎを演出しています。彩度と明度のコントラストが海面に映る美しい風景を、たくさんの家族や若者が眺めていました。神戸のウォーターフロントは活気を増し、都市機能と相乗効果を増していきます。神戸は幾多の困難から復興して発展を続けていますが、その中心には変わらずに神戸ポートタワーがあります。

んでした。湧水と闘いながら堅固に設けられた杭基礎と、美しさを備えた一葉双曲線のタワー構造の合理性が確認されました。現在は神戸ポートタワーのさらなる耐震性能への補強工事が行われ、屋上展望施設や低層部のテラスの新設工事が並行して進められています。神戸ポートタワーから東側に向かって親水公園、水族館、アリーナ(約1万人収容、スポーツ興行、音楽興行、国際会議)、ホテル、オフィス、集合住宅など開発が続きます。三宮や元町からのアクセスを活かし、メリケンパーク、ハーバーランドを含めた回遊性があるウォーターフロントへと発展します。工業・運輸から憩いへと地域の雰囲気が変わりつつ、神戸ポートタワーは発展のシンボルとしての役割を続けます。

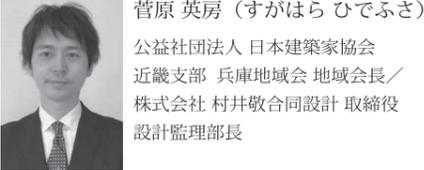
(公社)日本建築家協会 近畿支部 兵庫地域会と神戸松蔭女子学院大学は、神戸ポートタワーの曲線美の秘密を学ぶワークショップ「ミニポートタワーをつくらう」を開催しています。32本の鋼管で構成された一葉双曲線は、明快な構造形式でありながら美し



ワークショップ「ミニポートタワーをつくらう」(作品が完成し内部照明を調整する)



メリケンパークから眺めるハーバーランド



菅原 英房 (すがはら ひでふさ)

公益社団法人 日本建築家協会
近畿支部 兵庫地域会 地域会長/
株式会社 村井敬合同設計 取締役
設計監理部長